

事業者向け 児童発達支援自己評価表

児童デイサービス芳泉

記入年月:令和 2 年 3 月

		チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	スペース的には基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置数は基準を満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	民家という構造上一部段差はあるが、車いす(ハンダ)移動の際は十分注意している。また歩行時ふらつきがある幼児については、教員での足の引っ掛かりに十分注意した見守りを行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	清掃、床にものを置かない、採光、温度、湿度等、心地よく過ごせる環境に配慮している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	全体ミーティングで、個々の児童の振り返りをし、今後の支援について丁寧に話し合いを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施しているが、業務改善につなげていない項目もあるため、来年度は具体的に実施していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	臨床心理士による内部研修だけではなく、外部研修の必要があるのではないかと意見があった。来年度は、全事業所向け内部研修の充実を図っていくこととなった。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	全ての保護者に対しアセスメント及び保護者面談を行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	児童発達支援計画に、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」の項目はないが、必要に応じて具体的な支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	児童発達支援計画の支援項目を日々の振り返りで共有し、計画に沿った支援を行うよう努めている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	担当制で、日々のリーダーが立案を行った後共有している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	活動が重ならないように、曜日固定をせずにスケジュールを組んでいる。一方で、繰り返し行うことで身につけていくこともあるため、バランスよく支援する工夫をしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	出勤時間が様々であることから、申し送りノートや送迎表を通じて確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	パート従業員は、経過記録や申し送りノートに記入し退社している。常勤従業員については、日々札で支援の振り返りを行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日経過記録をとり、支援の検証・改善につなげている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年毎のモニタリングに加え、必要に応じ児童発達支援計画の見直しについて話し合いを行っている。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、その子どもの状況に精通した担当者が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	保健センターの保健師や、相談支援専門員と連携を取りながら支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	対象の子どもは利用していない。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	個人情報関係上、断られる場合もあるが、必要に応じ連携をとるよう努力している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	移行支援に際し、保育所等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、担当者会議を通じ支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1年に1回はお願したいが、連携が取れていないのが現状である。来年度は交流を持てるようにこちらから働きかけをしていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	実際に保育所や幼稚園に通っている子どもは交流があるが、その他の子どもたちの交流を図れていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	津島市の総合支援協議会発達支援部会部会へ積極的に(月1回)参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	お仕事をしている保護者には十分な共通理解を図ることが難しいケースもあるが、工夫していきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	保護者の精神面を考慮し、どのように伝えることがいかにスタッフ間で話し合いながら支援している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容についての説明を行っていなかった。来年度から説明していく。保護者から児童発達支援計画の同意については、児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の交換ノートでのやり取りや送迎時、また電話での子育ての悩み等に対する相談に都度応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会や保護者会等は、現時点では開催できていない。単独通所のため、働く保護者同士の連携の場をどう作っていくかが今後の課題である。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	日々の子育ての悩みはその日のうちに返答するようにしている。随時臨床心理士資格を持つスタッフによる職員へのコンサルテーションを通じ助言をもらい支援に活かしている。また月1回の無料臨床心理士保護者相談会で保護者へ助言している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月「芳泉だより」と「月間スケジュール」を保護者へ配布している。活動状況については、毎週ブログとInstagramを更新している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	契約時、個人情報同意書に捺印いただくとともに、ブログやお便り等に写真を掲載してもよいかの同意書も頂戴している。スタッフに対しては、年に1回個人情報保護法に関する研修を行い、周知徹底している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもには施設内の構造化・単語や二語文・身振り手振り・視覚化等で、保護者には繰り返しかつ具体的な説明等の配慮をしている。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	施設の構造上、大勢の方をお招きすることが困難であるため行っていない。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	緊急時対応については、保護者と避難場所や引渡し方法についてプリントをお渡しし共有できおり、スタッフにもファイルの場所を周知している。各種マニュアルを作成し研修を実施。目の届くところに置き、いつでも確認できる体制を整えている。保護者に対しても説明できる体制を整えている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に数回、火災・地震・水害等の避難訓練を実施し、避難場所への道のりを確認している。紙芝居やDVDを使い、視覚的にもわかりやすい訓練を行う等工夫をしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	アセスメントの際、アレルギーの有無を書面で確認し、スタッフ間で共有し対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	受診していただけないケースもあるため、気づくことがあれば保護者へお伝えし、対処を促している。事前に情報を頂戴している場合は、保護者に都度確認しながら提供している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書ファイルを作成し、事業所内で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待に関する研修を行い、チェックリストでスタッフ全員に虐待を行っていないかチェックをし、事前防止に努めている。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	該当なし。	

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービス芳泉 大治

記入年月:令和 2 年 3 月

		チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準の倍の広さがある。スペース的には基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	職員配置は基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	全面バリアフリーである。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	全体ミーティングに参加できない非常勤スタッフへは、個別に伝える方法をとっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施しているが、業務改善につなげていない項目もあるため、来年度は具体的に実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は行っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	臨床心理士による内部研修だけでなく、外部研修の必要があるのではないかと意見があった。来年度は、全事業所向け内部研修の充実を図っていくこととなった。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年1回フェースシートとアセスメントを更新している。それ以外に、最低半年毎に保護者面談を実施し、聞き取りを行った上で計画書作成会議を開催し、チームで計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	立案は担当が考えたものをチームで話し合い、活動担当が準備し実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	曜日固定利用の子どもが同じ活動に偏らないよう工夫し、プログラムを組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	学校休業日や長期休暇等は、午前の活動と午後の活動に分け、子どもたちが飽きないように工夫しながらプログラムを設定し支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	集団活動と基本的な生活習慣や作品作り等の個別活動適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	勤務開始時間が異なるスタッフがいるため、前日に次の日の確認事項を申し送りノートに記入し、次の日にはそのノートを通じて支援内容や役割分担を確認するとともに、口頭でも伝えるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後は、先に帰るスタッフから申し送りを受け、最後まで残るスタッフが夕礼を行い、本日の振り返りを申し送りノートに記入している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	子ども別の経過記録を日々記入しているため、それを元に振り返りを行いながら支援の検証、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	子ども自身や環境に変化があった場合は、その都度スタッフ間で話し合いを行い、必要に応じて相談支援専門員と連携をとりながら見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	創作活動や余暇の提供に関する支援は行えているが、積極的な地域との交流ができていない。来年度は職員間で具体的に話し合い実施していく予定。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	基本的に子どもの状態を最もよく把握している担当スタッフがサービス担当者会議に参加するが、できない場合は担当から状況を聞いた上で参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者を通じ、年間行事予定や毎月のお便りの控えを頂戴したり、下校時刻を利用予約表へ記入いただいているため、下校時刻の把握ができています。送迎時の対応についても、変更があればその都度お便り等で確認する体制が整っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な子どもを受け入れるは事業所として行えないが、アレルギーや服薬等が必要な子どもに関しては、事前に保護者との情報共有を行い対応している。主治医の情報も契約時書面で提出してもらっている。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学後に利用された子どもに関しては、就学前の情報が記載されているサポートブックを通じて保護者と共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1年に1回はお願しいですが、連携が取れていないのが現状である。来年度は交流を持てるようこちらから働きかけをしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けられていない。来年度は職員間で具体的に話し合い実施していく予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	毎回参加し、議事録を後日印刷しスタッフに回覧し共有している。市が主催する研修会等へは積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に事業所や自宅でのこどもの様子を共有したり、連絡帳や電話等でも発達状況や課題についてお互いに理解し合うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	月1回臨床心理士の保護者相談会も実施しており、希望者には無料参加でペアレント・トレーニングの支援を行っているが、それ以外では行っていない。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の子育ての悩みはその日のうちに返答するようにしている。随時臨床心理士資格を持つスタッフによる職員へのコンサルテーションを通じ助言をもらい支援に活かしている。また月1回の無料臨床心理士保護者相談会で保護者へ助言している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会の活動の支援は行っていないが、保護者会の開催をしたり、施設で行う夏祭りや、施設外行事のいちご狩りに保護者様をお誘いし、交流できる機会を提供している。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その日のうちに苦情の内容や原因及び対策を話し合い、施設長が謝罪と説明に伺っている。相談支援専門員にも連絡し、再発防止に努めている。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月「芳泉だより」と「月間スケジュール」を保護者様へ配布している。活動状況については、毎週ブログを更新したりInstagramで発信している。
35		個人情報に十分注意しているか	契約時、個人情報同意書に署名捺印いただくとともに、ブログやお便り等に写真を掲載してもよいかの同意書も頂戴している。スタッフに対しては、年に1回個人情報保護法に関する研修を行い、周知徹底している。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもには施設内の構造化・単語や二語文・身振り手振り・視覚化等で、保護者には繰り返しかつ具体的な説明等の配慮をしている。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域柄ご招待できない現状がある。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応については、保護者様と避難場所や引渡し方法についてプリントをお渡しし共有できおり、スタッフにもファイルの場所を周知している。各種マニュアルを作成し研修を実施。目の届くところに置き、いつでも確認できる体制を整えている。保護者様に対しても説明できる体制を整えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に1回、火災・地震・水害等の避難訓練を実施し、避難場所への道のりを確認している。水消火器を使い消火訓練を行う等工夫をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待に関する研修を行い、チェックリストでスタッフ全員に虐待を行っていないかチェックし事前防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントの際、アレルギーの有無を確認し、スタッフ間で共有している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書ファイルを作成し、事業所内で共有している。	

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

ほうせん 津島2

配入年月:令和 2 年 3 月

		チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建物の構造上(一軒家)全面バリアフリーにはできないが、ジョイントマットを敷き段差の解消に努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	全体ミーティングに参加できない非常勤スタッフへは、個別に伝える方法をとっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施しているが、業務改善につなげていない項目もあるため、来年度は具体的に実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は行っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	臨床心理士による内部研修だけでなく、外部研修の必要があるのではないかという意見があった。来年度は、全事業所向け内部研修の充実を図っていくこととなった。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年1回フェースシートとアセスメントを更新している。それ以外に、最低半年毎に保護者面談を実施し、聞き取りを行った上で計画書作成会議を開催し、チームで計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	立案は担当が考えたものをチームで話し合い、活動担当が準備し実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	曜日固定利用の子どもが同じ活動に偏らないよう工夫し、プログラムを組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	学校休業日や長期休暇等は、午前の活動と午後の活動に分け、子どもたちが飽きないように工夫しながらプログラムを設定し支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	集団活動と基本的な生活習慣や作品作り等の個別活動適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	長期休暇は支援開始前に打ち合わせを行えないため、前日までに活動計算書を作成し、事前共有してから支援を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後は、先に帰るスタッフから申し送りを受け、最後まで残るスタッフがタスクを行い、本日の振り返りを申し送りノートに記入している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	子ども別の経過記録を日々記入しているため、それを元に振り返りを行いながら支援の検証、改善につなげている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	子ども自身や環境に変化があった場合は、その都度スタッフ間で話し合いを行い、必要に応じて相談支援専門員と連携をとりながら見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	基本活動を複数組み合わせ、支援している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	子どもの状態を最もよく把握している担当スタッフがサービス担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者を通じ、年間行事予定や毎月のお便りの控えを頂戴したり、下校時刻を利用予約表へ記入いただいているため、下校時刻の把握ができています。送迎時の対応についても、変更があればその都度お便り等で確認する体制が整っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは事業所として行えないが、アレルギーや服薬等が必要な子どもに関しては、事前に保護者との情報共有を行い対応している。主治医の情報も契約時書面で提出してもらっている。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学後に利用された子どもに関しては、就学前の情報が記載されているサポートブック等を通じて保護者と共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1年に1回はお願いが、連携が取れていないのが現状である。来年度は交流を持てるようこちらから働きかけをしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けられていない。来年度は職員間で具体的に話し合い実施していく予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	月1回、総合支援協議会へ参加している。福祉まつり準備や当日の協力も行った。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に事業所や自宅でのこどもの様子を共有したり、連絡帳や電話等でも発達状況や課題についてお互いに理解し合うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	月1回臨床心理士の保護者相談会で、希望者には無料参加でペアレント・トレーニングの支援を行っているが、それ以外では行っていない。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の子育ての悩みはその日のうちに返答するようにしている。随時臨床心理士資格を持つスタッフによる職員へのコンサルテーションを通じ助言をもらい支援に活かしている。また月1回の無料臨床心理士保護者相談会で保護者へ助言している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会の活動の支援や、保護者会の開催は行っていないが、施設で行う夏祭りや餅つき等の行事に保護者様をお誘いしたり、戸外でのBBQ等交流できる機会を提供している。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その日のうちに苦情の内容や原因及び対策を話し合い、施設長が謝罪と説明に伺っている。相談支援専門員にも連絡し、再発防止に努めている。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月「ほうせんだより」と「月間スケジュール」を保護者様へ配布している。活動状況については、毎週ブログを更新したりInstagramで発信している。
35		個人情報に十分注意しているか	契約時、個人情報同意書に署名捺印いただくとともに、ブログやお便り等に写真を掲載してもよいかの同意書も頂戴している。スタッフに対しては、年に1回個人情報保護法に関する研修を行い、周知徹底している。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもには施設内の構造化・単語や二語文・身振り手振り・視覚化等で、保護者には繰り返しかつ具体的な説明等の配慮をしている。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	夏祭りの流しそうめんやお正月のお餅つき等、ご近所の方へ声掛けをし、地域との交流を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応については、保護者様と避難場所や引渡し方法についてプリントをお渡しし共有できおり、スタッフにもファイルの場所を周知している。各種マニュアルを作成し研修を実施。目の届くところに置き、いつでも確認できる体制を整えている。保護者様に対しても説明できる体制を整えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	防災センターへ地震や火災体験、水害について学びに行った。それ以外にも年2回避難訓練を行い、避難場所を徒歩で確認に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待に関する研修を行い、チェックリストでスタッフ全員に虐待を行っていないかチェックし事前防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントの際、アレルギーの有無を確認し、スタッフ間で共有している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書ファイルを作成し、事業所内で共有している。	

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

就労準備型芳泉

記入年月:令和 2 年 3 月

		チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建物の構造上(一軒家)玄関の段差はあるが、室内はバリアフリーである。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	全体ミーティングに参加できない非常勤スタッフへは、個別に伝える方法をとっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施しているが、業務改善につなげていない項目もあるため、来年度は具体的に実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を実施し、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は行っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	臨床心理士による内部研修だけでなく、外部研修の必要があるのではないかという意見があった。来年度は、全事業所向け内部研修の充実を図っていくこととなった。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年1回フェースシートとアセスメントを更新している。それ以外に、最低半年毎に保護者面談を実施し、聞き取りを行った上で計画書作成会議を開催し、チームで計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	立案は担当が考えたものをチームで話し合い、活動担当が準備し実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	曜日固定利用の子どもが同じ活動に偏らないよう工夫し、プログラムを組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	学校休業日や長期休暇等は、午前の活動と午後の活動に分け、子どもたちが飽きないように工夫しながらプログラムを設定し支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	集団活動と基本的な生活習慣や作品作り等の個別活動適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	長期休暇は支援開始前に打ち合わせを行えないため、前日までに活動計算書を作成し、事前共有してから支援を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後は、先に帰るスタッフから申し送りを受け、最後まで残るスタッフが夕礼を行い、本日の振り返りを申し送りノートに記入している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	子ども別の経過記録を日々記入しているため、それを元に振り返りを行いながら支援の検証、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	子ども自身や環境に変化があった場合は、その都度スタッフ間で話し合いを行い、必要に応じて相談支援専門員と連携をとりながら見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	基本活動を複数組み合わせ、支援している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	子どもの状態を最もよく把握している担当スタッフがサービス担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	保護者を通じ、年間行事予定や毎月のお便りの控えを頂戴したり、下校時刻を利用予約表へ記入いただいているため、下校時刻の把握ができています。送迎時の対応についても、変更があればその都度お便り等で確認する体制が整っている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは事業所として行えないが、アレルギーや服薬等が必要な子どもに関しては、事前に保護者との情報共有を行い対応している。主治医の情報も契約時書面で提出してもらっている。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	高学年以上対象のため、該当なし。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1年に1回はお願いしたいが、連携が取れていないのが現状である。来年度は交流を持てるようこちらから働きかけをしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けられていない。来年度は職員間で具体的に話し合い実施していく予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	月1回、総合支援協議会へ参加している。福祉まつり運営委員として準備や当日の協力も行った。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時に事業所や自宅でのこどもの様子を共有したり、連絡帳や電話等でも発達状況や課題についてお互いに理解し合うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	月1回臨床心理士の保護者相談会で、希望者には無料参加でペアレント・トレーニングの支援を行っているが、それ以外では行っていない。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の子育ての悩みはその日のうちに返答するようにしている。随時臨床心理士資格を持つスタッフによる職員へのコンサルテーションを通じ助言をもらい支援に活かしている。また月1回の無料臨床心理士保護者相談会で保護者へ助言している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会の活動の支援や、保護者会の開催は行っていないが、施設で行う夏祭りや餅つき等の行事に保護者様をお誘いしたり、戸外でのBBQ等交流できる機会を提供している。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	その日のうちに苦情の内容や原因及び対策を話し合い、施設長が謝罪と説明に伺っている。相談支援専門員にも連絡し、再発防止に努めている。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月「芳泉だより」と「月間スケジュール」を保護者様へ配布している。活動状況については、毎週ブログを更新したりInstagramで発信している。
35		個人情報に十分注意しているか	契約時、個人情報同意書に署名捺印いただくとともに、ブログやお便り等に写真を掲載してもよいかの同意書も頂戴している。スタッフに対しては、年に1回個人情報保護法に関する研修を行い、周知徹底している。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	子どもには施設内の構造化・単語や二語文・身振り手振り・視覚化等で、保護者には繰り返しかつ具体的な説明等の配慮をしている。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	夏祭りの流しそめんやお正月のお餅つき等、ご近所の方へ声掛けをし、地域との交流を図っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応については、保護者様と避難場所や引渡し方法についてプリントをお渡しし共有できおり、スタッフにもファイルの場所を周知している。各種マニュアルを作成し研修を実施。目の届くところに置き、いつでも確認できる体制を整えている。保護者様に対しても説明できる体制を整えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	防災センターへ地震や火災体験、水害について学びに行った。それ以外にも年2回避難訓練を行い、避難場所を徒歩で確認に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に1回、虐待に関する研修を行い、チェックリストでスタッフ全員に虐待を行っていないかチェックし事前防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	該当なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントの際、アレルギーの有無を確認し、スタッフ間で共有している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット報告書ファイルを作成し、事業所内で共有している。	